

# 聴覚障害者へ119番PR動画

## 名古屋消防局 今村彩子監督が制作

名古屋消防局の聴覚障害者向け119番通報システムを周知しようと、生まれつき耳が聞こえない映画監督今村彩子さん(42)(名古屋市緑区)らが広報動画を制作し、耳の日の3日、動画投稿サイト「ユーチューブ」で公開を始めた。

### 登録制、スマホで通報

システム名は「Net119緊急通報システム」。

聴覚や音声・言語機能などに障害がある人が、スマートフォンなどからインターネットを使って119番で、チャットで詳しい情報を伝える仕組みだ。全地球測位システム(GPS)で

映画監督の今村さん



Net119の広報動画(今村さん提供)

位置情報を特定し、名古屋市外でも利用可能。ただし、利用するには事前登録が必要だ。

2019年2月から運用を始めたが、市内在住の聴

覚障害者ら約7000人に

対し、登録者数は278人

(2月20日現在)にとどま

っている。このため、市消

防局は、聴覚障害者を持つ今

村さんに広報動画の制作を

依頼した。

動画は約3分と約11分の

2本。聴覚障害のある熊本

市在住の写真家斎藤陽道さ

んとパートナーの盛山麻奈

美さんが出演している。今

村さんがインタビュアーし、

撮影・編集は映像作家岡本

和樹さんが担当した。

動画では、出演者2人が

119番できなかった経験

を語っている。13年12月の

夜、2人が自転車でDVD

んが転倒して意識を失った。しかし、救急車を呼ぼうとしても周りには誰もおらず、119番ができなかった。2人は熊本市へ転居した直後で、市から同様のシステムの説明を受けたが、登録していなかった。「何か起こってからでは遅い。早めに登録してほしい」と訴える。

名古屋消防局指令課の寺沢大輔・消防司令は「障害のある若い世代が自分は大丈夫だろうと、登録しないケースがあると思う。動画を見て、登録するきっかけになってくれれば」と期待を寄せる。

今村さんは「私も登録しました。家族だけでなく、外で人が人を見つけた際、通報できるので人の力にもなれると思う」と登録を勧めている。